令和元年台風第19号の高波に対する海岸保全施設の整備効果 一駿河海岸一

- ○駿河海岸(静岡県)では、令和元年台風第19号において、<mark>観測史上最高の潮位 T.P.+1.63m (清水港)と波高 8.91m</mark>
- (駿河海岸沖)を記録しました。
 ○これまでの海岸保全施設の整備がなければ、約 5,000 戸の家屋と約 700 事業所の工場へ浸水被害の発生が想定されました。
- ○駿河海岸の海岸保全施設(堤防・消波堤・離岸堤)の整備によって、一部区間での越波はあったものの、<mark>焼津市・吉田</mark>町・牧之原市を高波被害から守りました。被害防止の効果は約 2,900 億円と推定されます。

